

令和元年度

富山県薬事総合研究開発センター 研究成果発表会

日時

令和2年

3月11日(水) 13:30-14:50

富山県薬事総合研究開発センター 大会議室(創薬研究開発センター 2F)
(射水市中太閤山17-1)

①甘草成分イソリクイリチゲニンのNLRP3インフラマソーム 阻害作用とその応用研究

創薬研究開発センター 主任研究員 本田 裕恵

我々は、甘草成分イソリクイリチゲニンが炎症性サイトカインIL-1βの産生を制御するNLRP3インフラマソームの活性化を阻害する作用を持つことを見出しました。また、本成分のマウスでの抗糖尿病効果を検討し、有効性を確認しました。本発表では、これらの研究に関して現在の取り組みとともにご紹介いたします。

②白樺成分ベツリンのがん免疫増強作用と創薬研究

製剤開発支援センター 試験課長 小笠原 勝

当センターでは、ほくりく健康創造クラスター事業において見出した白樺成分ベツリンのがん免疫増強作用を創薬に繋げるべく、ベツリンの誘導体を作製し、薬効評価を進めてきました。その結果、数種の誘導体にベツリンよりも強い抗腫瘍効果を認めました。本発表では、その薬理効果と作用の仕組みについて報告します。

③質量分析装置を活用した医薬品の品質管理への応用

創薬研究開発センター 副主幹研究員 小木曾英夫

県内医薬品企業の品質管理技術向上を目的として、県内分析技術者とともに毎年研究会を開催し、最新の分析技術について経験を深める活動を行っています。本発表では、「飛行時間型質量分析装置」と「四重極型質量分析装置」について、「強制劣化物の構造推定」および「微量薬物の定量」への活用事例を報告します。

お申し込み
お問い合わせ

富山県薬事総合研究開発センター 研究協力課 担当：林、寺本

TEL (0766) 56-6026 FAX (0766) 56-7285